

5 体験の事後評価等

(1) 事後評価（振り返り）の仕方

農林漁業体験や食体験活動をより効果的な取組とするためには、継続的に実施することが重要です。参加者の感想・要望などを基に事後評価を行い、プログラムの改善に努めましょう。

● 参加者アンケートなどの実施

参加者にアンケートをとり、体験の感想や要望を書いてもらいます（図2-11）。体験当日に時間が取れない場合は、後日送付してもらうのもよいでしょう。

● 生産者、スタッフで体験プログラムを検証する

目的や参加対象に合った企画・内容であったか、また体験準備、体験当日の進行で不手際がなかったかなど、関わったスタッフ全員で話し合い、参加者アンケート結果も踏まえ、体験プログラムの改善を検討します。

図2-11 参加者へのアンケート例

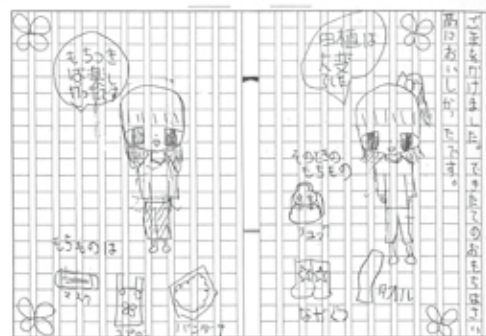
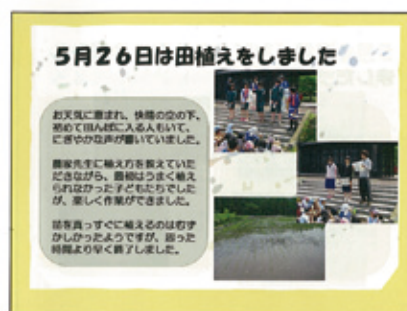
「●月●日 収穫体験」	
	名前 _____
1. 今日の体験はどうでしたか？	
2. 一番楽しかった体験はなんでしたか？	
3. 次に何をしてみたいですか？	
4. その他（感想・疑問・質問でもご自由にお書きください）	
回答ありがとうございました。この内容は今後の活動に活かしていきます。 後日お送りいただく方はこちらへ→ FAX：●●● - ●●● - ●●●●	

(2) 参加者による「振り返り」

参加者自身に体験の「振り返り」をしてもらうことも、体験の効果を高める上で大切です。

【学校型】の場合は、学校に「振り返り」を提案してもよいでしょう。

- ・参加者の記録に残す（例：栽培している野菜の観察日記、虫の観察手帳、絵手紙、壁新聞、文集など）
- ・収穫祭、表彰式、発表会などを行う（例：模造紙や写真などにまとめて発表、コンクールなど）
- ・【学校型】の場合、給食と結び付ける（例：収穫物を給食に利用、生産者を招いた給食など）



卒業文集の例

(信州すざか農業小学校より)

食べものを味わう

● 味わいとは何か

味わうとは、

五感を使って、人間の感性や能力を積極的に引き出すこと。五感だけでなく、心で感じるにより、態度を養うことができる。「食は命なり」「食は社会なり」「食は地球なり」を意識できる豊かな知性と感性の喜びをもたらすことである。

「味わい体験」とは、

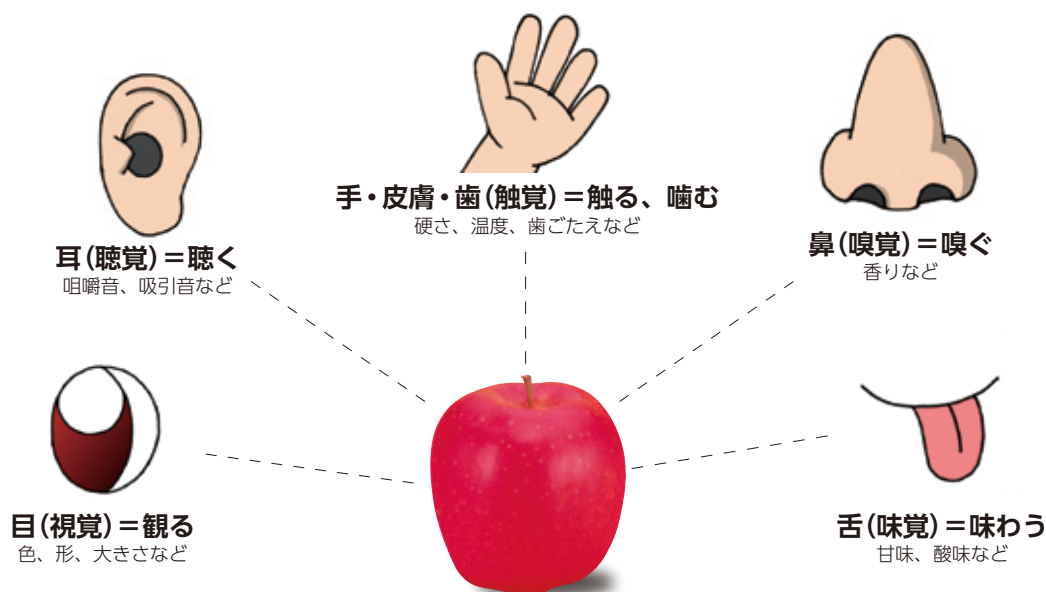
- ・ 食べる前に…「目で観て、手や鼻で感じる」
- ・ 食べる時に…「歯で硬さや軟らかさ、暖かさなどを感じる」「耳に伝わる音で硬さやその変化を感じる」「鼻で匂いを感じる」「舌に伝わる食の多様な味を感じる」
- ・ 食べた後で…「口に残るコクと余韻を感じる」「かつて食べたものの記憶を呼び起こす」

といった、一連のふるまいすべてを言います。自分が食べているものを五感で味わい、表現することで、食べものの捉え方が変わってきます。

りんごを使って、試してみましょう。2種類のりんご（A、B）を用意します（違いを比べることが大切なので、りんごでなくてもかまいません）。

● 味わって食べる「STEP 1 五官を使って五感を感じる」

それぞれ、五官（目、耳、手、鼻、舌などの感覚器官）を使ってりんごを観察し、食べてみて感じたことを表現してみましょう。（52ページワークシート「五官を使って五感を感じる」参照）



【味わいのポイント】

- ・ 五官すべての感覚を使って、食べものを感じていることが、実感できたでしょうか。
- ・ AとBのりんごの違いを、表現できるでしょうか。

● 味わって食べる「STEP 2 五味を感じる」

味を感じるのは舌、つまり「口」です。口は、食べるために最も発達した感覚器官です。口の中で噛んでいると、舌で味わうだけでなく、噛む音（聴覚）、香り（嗅覚）なども合わせて、食べものを感じることができます。

【味わいのポイント】

- ・ 口の中にどのような味を感じたでしょうか。
- ・ AとBのりんごの味の違いを、表現できるでしょうか。

味には、“五味”と呼ばれる味わいがあります。甘味、塩味、旨味、酸味、苦味です。

「味わう」とは五感や心で感じることであり、地球上の多くのつながりを意識することです。味わいながら食べることで、食（命）が産まれた瞬間、育まれた大地や海、口にするまでの過程に想いを巡らす機会が提供されます。すべてのものがあるのが当たり前ではなく、あるのは奇跡的なことであり、貴重で尊いものであるという、感謝の心を持つことにつながります。



著：品川明（学習院女子大学教授）
フードコンシャスネス（学習院女子大学）
<http://www-cc.gakushuin.ac.jp/~gwc-ifc/>

味わい教育アクティビティ

氏名：_____

日付：_____

ワークシート 五官を使って五感を感じる

A と B の食べ物があります。目、耳、手、鼻、舌で体験して、自分で感じたことを書きましょう。

	A	B
		
		
		
		
		

発見したこと：_____